

平成26年度第1回鳥取県社会福祉審議会  
追加資料

【審議事項】

- 社会福祉施設等施設整備費国庫補助金について・・・資料1-1

【報告事項】

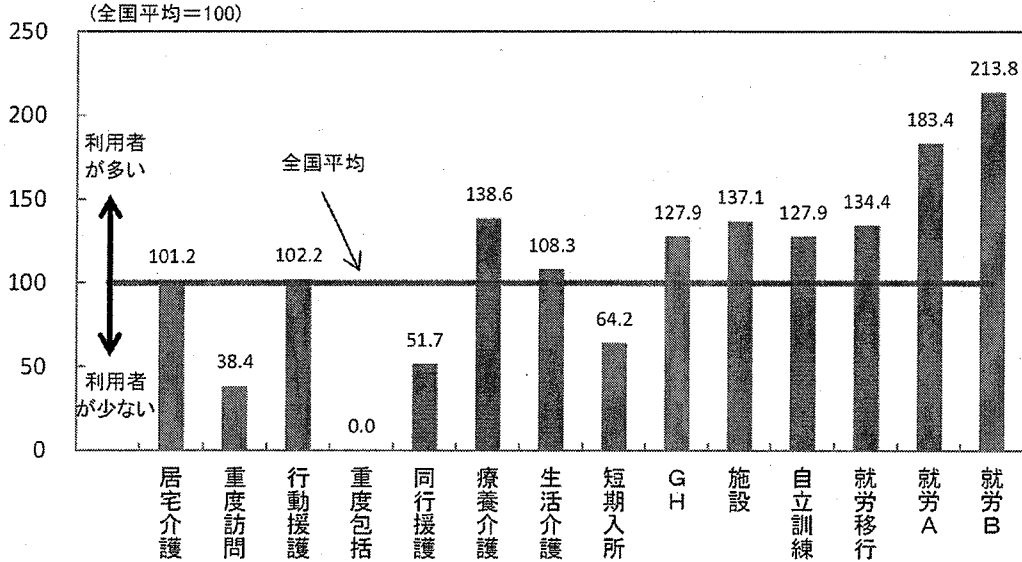
- 松の聖母学園で発生した虐待事案について・・・資料10
- あいサポート・アートとっとりフェスタの開催結果について・・・資料6



### 鳥取県の障がい福祉サービス利用状況①

- 鳥取県の障がい福祉サービス利用者は、就労、施設、GH等が多い傾向
- 一方、重度訪問介護、短期入所など在宅生活を支援するサービスが少ない傾向

サービス種別の利用者の状況(全国との比較)

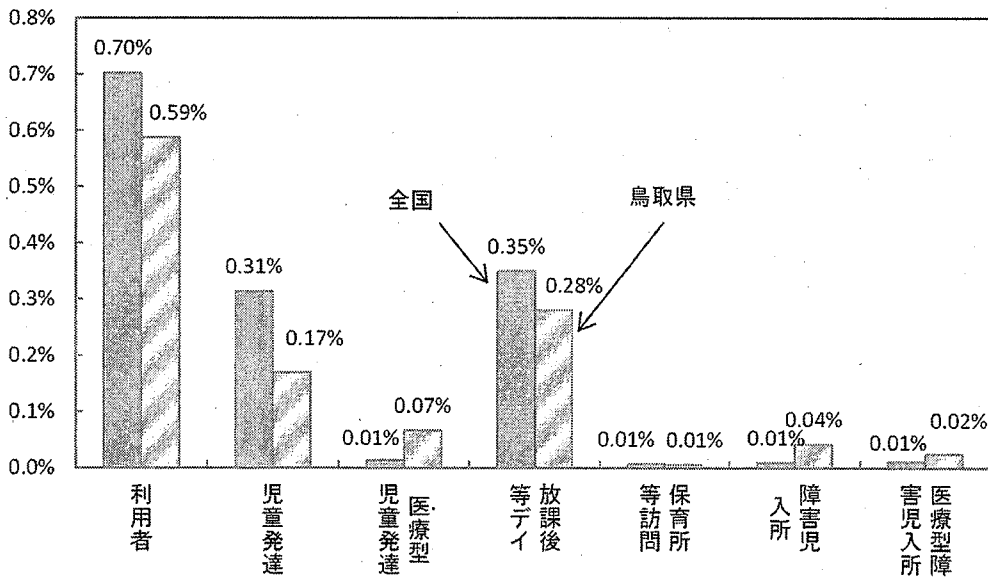


(資料出所) 鳥取県障がい福祉課資料、厚生労働省統計資料等から作成。  
 注) 種類別福祉サービス利用者数を障がい者数(手帳所持者等)で除し、全国平均を100として鳥取県を指数化したもの。

### 鳥取県の障がい福祉サービス利用状況②

- 医療型児童発達支援、障害児入所支援、医療型障害児入所支援は全国平均を上回る。
- 一方、児童発達支援、放課後等デイサービスは全国平均を下回っている。

(18歳未満人口に占める割合)



(資料出所) 鳥取県障がい福祉課資料、厚生労働省統計資料等から作成。  
 注) 種類別福祉サービス利用者数を18歳未満人口に占める割合を示している。

## 鳥取県障害福祉計画におけるサービス需要見込と現在のサービス提供体制との比較

平成26年10月1日現在

～第三期鳥取県障害福祉計画(H24～26)における平成26年度の需要見込と、現在のサービス提供体制との比較～

### 平成26年度需要見込と現サービス提供体制の比較

サービス種別	東部	中部	西部	計
生活介護	83%	137%	89%	109%
自立訓練 (機能訓練)	103%	0%	0%	72%
自立訓練 (生活訓練)	118%	105%	104%	111%
就労移行支援	213%	95%	48%	125%
就労継続支援 (A型)	205%	122%	200%	188%
就労継続支援 (B型)	147%	93%	116%	125%
短期入所	26%	18%	78%	43%
グループホーム	106%	89%	73%	87%

※H27年度事業選定時には、第四期鳥取県障害福祉計画(H27～29)における平成27年度の需要見込と比較

## 松の聖母学園で発生した虐待事案について

平成26年11月

障がい福祉課

## 1. 虐待事案の概要

- (1) 虐待のあった施設 障害者支援施設「松の聖母学園」(鳥取市白兔、定員100名)
- (2) 加害職員 A:男性、B:女性の2名
- (3) 虐待の概要 身体的虐待・ネグレクトなど13件  
Aが利用者の頭を押さえ湯船に顔を付けた  
Bが利用者の頭をバインダーで殴打し外傷を負わせた など

## 2. 経過

- H26.3 障がい福祉課に内部告発文書が届く
- 4.3~28 県及び市による任意の聞き取り調査、総合支援法に基づく立入り調査
- 4.28 あすなろ会が虐待事案を公表
- 4.30 県があすなろ会に対して改善勧告を実施  
(勧告内容:虐待事案の全貌調査、適切なサービスの提供、施設の体制整備、法人としての再発防止策の検討・実施)
- 4.30 県が県内の障がい福祉サービス事業所に虐待防止対策の徹底を通知
- 5.26 県内の障害者支援施設等への緊急立入り調査を実施
- 5.29 県内障害者支援施設の施設長を対象とした虐待防止研修の実施
- 6.30 あすなろ会が県に改善報告書を提出  
(報告書の内容:役職員の処分、松の聖母学園の人員体制の強化、研修の実施、法人本部の体制強化など)
- 7.4 あすなろ会に対する通知の発出  
(通知の内容:速やかな責任の所在の明確化、利用者、家族等への誠意ある対応、改革の速やかな実施等)
- 8.8 あすなろ会、松の聖母学園への立入り調査の実施
- 9.30 虐待防止ワークショップの開催
- 10.27 虐待防止研修の実施
- 11.13 虐待防止研修(施設管理者・虐待防止マネージャーコース)の開催
- 11.30(予定)障がい者虐待防止・権利擁護公開講座の開催
- ※ このほか、実地指導、集団指導で虐待防止について重点的に指導を実施。

## 3. 今後の予定

- (1) 必要に応じてあすなろ会、松の聖母学園に立入り調査を行い、改善状況を確認する。
- (2) 来年度予算で、入所施設間での支援方法の学び合い、困難事例へのスーパーバイザーの派遣など、施設の虐待防止のための事業を検討中。



# あいサポート・アートとっとりフェスタの開催結果について

平成26年11月17日  
 全国障がい者芸術・文化祭課

あいサポート・アートとっとりフェスタ(第14回全国障がい者芸術・文化祭とっとり大会)は、大会テーマを「障がいを知り、共に生きる」とし、障がい者の芸術文化活動の成果を発表するとともに、障がいへの理解を促進することを目的に開催し、以下のような成果があった。

## 1 県内における障がい者の芸術文化活動の活発化

区分	H24	H25	H26	H27(目標)
アート活動支援事業対象団体数	21団体	33団体	<b>43団体</b>	50団体
美術作品等の出品数	152点	309点	<b>387点</b>	400点
個展等開催費支援対象者数	—	—	<b>32者</b>	40者

## 2 障がい者の社会参加意識の向上

- 多くの来場者に自分たちの舞台発表や美術作品等を鑑賞していただいたことにより、障がい者は自信や達成感を抱かれた。



特別支援学校生徒  
 約400人による大合唱



障がい者団体によるステージ発表

- PRキャラバン隊のリーダー、大会キャラクターの作成、PRグッズの製作等を障がい者が担ったことによる社会参加意識の向上。



大会キャラクター「パレットくん」とデザイナー「山本拓司さん」



軽度の知的障がいのあるキャラバン隊リーダー「中尾奈々さん」

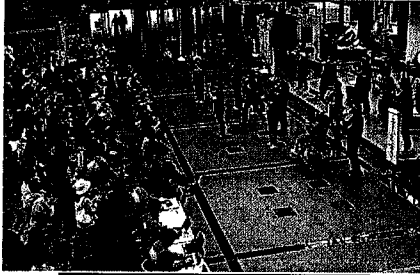


県内の障がい福祉サービス事業所が作成した大会PRグッズ

### 3 障がい者に対する理解の促進

#### (1) 障がい者の発表の鑑賞による理解

各開催会場には、障がいの有無にかかわらず多くの来場者があり、障がい者の舞台発表や美術作品等を鑑賞し、障がい者への理解を深めた。アンケート結果では「満足、やや満足」との回答が大多数であり、共生社会の実現を望む意見もあった。



多くの来場者で賑わう発表会場

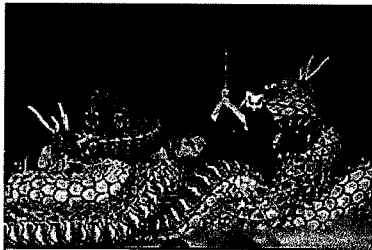


ホールイベントも大盛況

#### (2) 障がい者と健常者との交流による理解

障がい者と健常者とのコラボレーションによる舞台発表や美術作品等の創作による交流

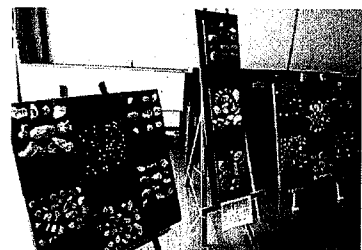
例：県立米子養護学校と日野高校による荒神神楽、障がい者と健常者による劇団による演劇、さくら工房と正調会による貝殻節、プロのアーティストと障がい者による美術作品等の創作



県立米子養護学校と日野高校による「荒神神楽」



障がいのある人とない人で創りあげた  
じゆう劇場「三人姉妹」



アーティストリンク作品展

#### (3) あいサポートの輪の拡大

- ・大会運営に延べ1,210人(登録者739人)のボランティアに参加していただき、障がい者の支援等に当たっていただいた。ボランティアの全員が「あいサポーター研修」を受講。
- ・PRキャラバン隊が、保育園、幼稚園、イベント、ショッピングモール等に出かけて大会のPRのほか、障がい体験等を実施した。



車いすの操作を手伝うボランティア



視覚障がい者の支援を行うボランティア



「あいサポーター」研修の様子



#### (4) 障がい者が作った製品の販売による理解

開催会場では、県内の障がい福祉サービス事業所が作った食品、製品等を販売し、県民の方が多く買われるなど障がい者への理解につながった。



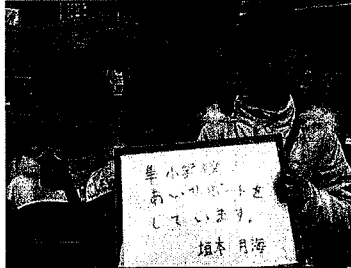
スイーツ甲子園鳥取  
県予選



スイーツ販売

#### (5) 障がいへの理解促進

多くの方々に大会の応援団になって大会をサポートしていただいたり、あいサポート大使としてグランドフィナーレの最後に手話で宣言していただくなどの取組により、あいサポート運動の普及と障がい理解が進んだ。



あいサポート大使の「垣本月海(つぐみ)さん」「心和(こより)さん」姉妹



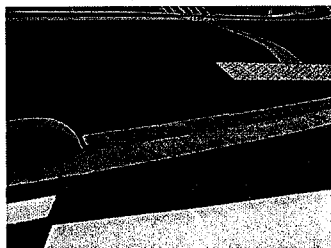
あいサポート大使による閉会宣言

### 4 重度の障がい者の参加

救護室の設置、支援者の配置、車椅子席の設置などの環境整備を行うことによって、重症心身障がい者などの重度の障がい者にも大会に参加していただいた。(保護者からのお礼あり)

### 5 施設のバリアフリー化の進展

- ・とりぎん文化会館のトイレ整備(大人用ベッド、洋式化、洗浄機能追加)
- ・会場近辺のメイン道路の歩道の整備(車椅子用の段差解消、インターロッキングの点検整備)
- ・宿泊施設等のバリアフリー化
- ・主要駅と会場を結ぶ無料シャトルバスの運行や駅に総合案内を設置



歩道の車いす用の段差解消



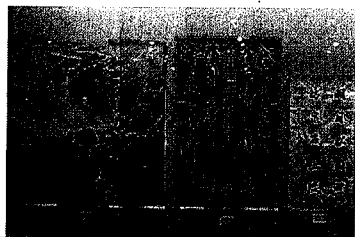
駅の総合案内所



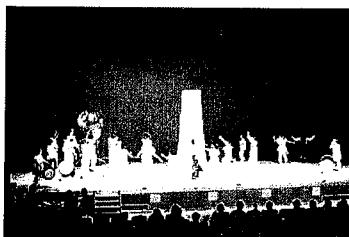
無料のシャトルバス

## 6 国内だけでなく国際的な取組へと発展

国内のみならず海外からも広く募集した障がい者アート作品の展示会や、日本と韓国のろう者と健聴者との演劇、海外の障がい者の舞台発表など、国際的な取組も行い、障がい者アートの魅力を鳥取から日本全国、海外へも発信した。



多くの海外作品も寄せられた  
「国際障がい者アート展」



日本と韓国のろう者と健聴者が一緒に作り上げた  
「日韓手話演劇」



台湾台中市の全盲の  
アコーディオン楽団による  
舞台発表

## 7 大会の成果を共生社会実現の土台として次のステップへ

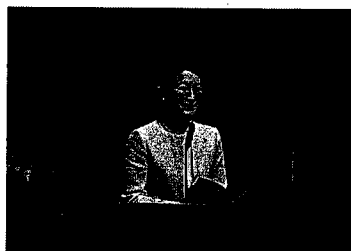
この大会を契機として、障がい者と健常者との交流や触れ合いがさらに盛んに行われ、相互理解が深まり、障がいのあるなしにかかわらず、お互いを尊重して支え合いながら生きていく共生社会が実現する道が、鳥取県から開かれていきました。この大会の成果を共生社会実現の土台として、次のステップを目指します。



出演者・来場者全員で「あいサポの輪」

## 8 全国障がい者芸術・文化祭で初めてとなる秋篠宮妃殿下・佳子内親王殿下の御臨席

全国障がい者芸術・文化祭で初めて秋篠宮妃殿下・佳子内親王殿下に御臨席賜りました。



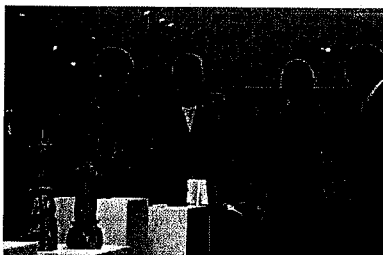
秋篠宮妃殿下お言



国際障がい者アート展御覧



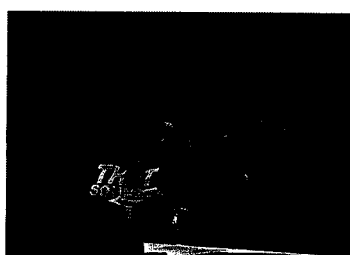
交流レセプション



アール・ブリュット展御覧



じゆう劇場の演劇御覧



因州和紙アート体験御臨席

## <各種データ>

### 1 大会入場者数（延べ人数）

43,276人

<主なイベント（2千人以上）>

- ・クライマックスイベント 15,151人
- ・アール・ブリュット展 8,506人
- ・オープニングセレモニー 4,203人
- ・アーティストリンク作品展 3,782人
- ・特別支援学校合同文化祭 2,812人
- ・国際障がい者アート展 2,353人

### 2 大会イベント数（延べ人数）

97イベント

- ・実行委員会主催イベント 24事業
- ステージイベント 8事業
- 展示イベント 10事業
- ワークショップ 6事業
- ・関連イベント 73事業

### 3 大会出演者（延べ人数）

1,745人

計 1,745人			うち障がい者 1,266人			うち健常者 479人		
県内	県外	海外	県内	県外	海外	県内	県外	海外
1,620	93	32	1,193	47	26	427	46	6

### 4 大会出展数（延べ点数）

3,577点

計 3,577点			うち障がい者 2,752点			うち健常者 825点		
県内	県外	海外	県内	県外	海外	県内	県外	海外
1,092	2,377	108	913	1,731	108	179	646	0

※海外：25か国（パラアート展16か国、国際障がい者アート展11か国、重複2か国）

### 5 ボランティア参加状況

739人 イベント参加ボランティア数 延べ1,210人

ボランティアの皆さんには、「あいサポーター」になっていただき、多様な障がいの特性、障がいのある方への必要な配慮などを理解してから、業務に当たっていただいた。

